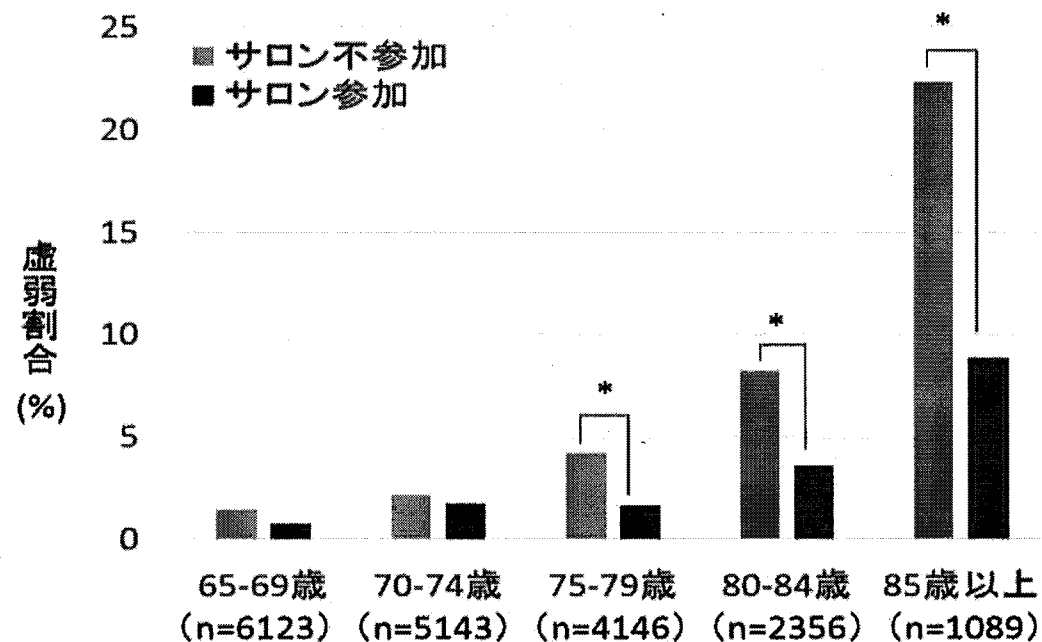


## 期待される効果

- ▶ 高齢者がますます元気になる
- ▶ 地域のつながりづくりのきっかけになる

地域づくりによる高齢者に対する効果例：サロン参加による虚弱割合の効果



65歳以上の高齢者21,844名を対象として分析した結果、**サロンへの参加群の虚弱の割合が低い**ことを確認

日本医療研究開発機構（AMED）研究事業「地域づくりによる介護予防を推進するための研究（平成27-29年度課題）」  
主任研究者 近藤克則（千葉大学）

## インセンティブの対象になる

### 介護保険：保険者機能強化推進交付金

- 体操等の「通いの場」の整備状況に応じて交付金が増加
- 200億円のうち、190億円を市町村、10億円を都道府県に交付

#### 評価指標の例（通いの場関係）

介護予防に資する住民主体の通いの場への65歳以上の方の参加者数はどの程度か  
【通いの場への参加率＝通いの場の参加者実人数／高齢者人口】等

ア 通いの場への参加率が○%（上位3割）  
イ 通いの場への参加率が○%（上位5割）

地域包括支援センター、介護支援専門員、生活支援コーディネーター、協議体に対して、総合事業を含む多様な地域の社会資源に関する情報を提供しているか。

住民の介護予防活動への積極的な参加を促進する取組を推進しているか  
（単なる周知広報を除く。）